

## 再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道4号 <small>きたかみ</small> 北上拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：岩手県北上市相去町字笹長根 <small>きたかみ あいさりちよう ささながね</small> 至：岩手県北上市飯豊町村崎野19地割 <small>きたかみ いいとよまちむらさきの ちわり</small>			延長	12.2km
事業概要					
一般国道4号は東京都中央区から青森県青森市に至る延長888.8kmの主要な幹線道路である。北上拡幅は、岩手県北上市相去町字笹長根から飯豊町村崎野19地割間に至る延長12.2km、4車線の道路である。					
S57年度事業化		H7年度都市計画決定 (H-年度変更)		S58年度用地着手	
S57年度工事着手					
全体事業費	約180億円	事業進捗率	83%	供用済延長	9.2km
計画交通量	27,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.6 (残事業) 3.1	(残事業)/事業全体 41億円/310億円 〔事業費：30億円/267億円〕 〔維持管理費：11億円/43億円〕	(残事業)/事業全体 129億円/504億円 〔走行時間短縮便益：115億円/425億円〕 〔走行経費減少便益：12億円/75億円〕 〔交通事故減少便益：2.2億円/3.7億円〕	平成24年	
感度分析の結果					
【全体事業】交通量変動：B/C=1.2~1.9(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.6~1.6(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.6~1.7(事業期間 ±1年)					
【残事業】B/C=2.9~3.6(交通量 ±10%) B/C=2.9~3.3(事業費 ±10%) B/C=3.0~3.2(事業期間 ±1年)					
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・北上市相去町笹長根地区から新幹線駅である北上駅へのアクセス性向上（現況：14分）					
②安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス性向上（北上市相去町笹長根地区～岩手県高度救命救急センター（移転予定地） 現況：48分）					
③災害への備え ・岩手県地域防災計画において、国道4号が緊急輸送道路（第1次路線）に指定					
関係する地方公共団体等の意見					
○岩手県知事の意見 ・事業継続に対して異議ありません。 ・本県では、東北縦貫自動車道とともに国土の骨格を形成する基幹道路である一般国道4号の整備促進を求めているところです。 ・「北上拡幅」は国道4号の交通混雑の解消や安全性の向上等を図る重要な事業であることから、早期の完成に向け、事業の推進をお願いします。					
○以下の団体等から、整備促進について要望あり ・北上市（北上市長）					
事業評価監視委員会の意見					
対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
・周辺の工業団地の造成や自動車関連産業等の集積等が多く、流通・工業集積地としての発展が著しい。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
・昭和57年度に事業化、用地進捗率87%、事業進捗率83%（平成27年3月末時点） ・平成22年度まで：北上市相去町平林～北上市飯豊町村崎野間 延長9.2km（4/4）部分開通					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
・事業の進捗に係る問題はない					
施設の構造や工法の変更等					
・交差協議により構造形式を橋梁から函渠に見直し					

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。  
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。